

平成28年度 事務事業評価シート

章	2	自然とともに暮らすまち
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり
施策	II	消防・救急救助体制の充実
目標	火災予防活動の強化や消防団の活性化など総合的な消防力を強化し、火災発生や被害を防ぐ。	

指標名	単位	基準値 H16	中間値 H21	実績値 H22	実績値 H23	実績値 H24	実績値 H25	実績値 H26	実績値 H27
指標① 建物火災の発生件数	件	13	7	11	11	8	4	6	9
指標② 火災による死傷者の割合	%	18.5	7.7	10.5	31.2	7.1	33	0.0	5.8

施策コード	施策の基本的な方向	主要な施策	具体的内容
1-①	1 火災予防活動の推進	① 防火管理体制の強化	・地域住民と事業所等の連携による防火管理体制の強化に努めます。
1-②	1 火災予防活動の推進	② 防火思想の普及	・市民の防火、防災意識の高揚を図るための講習会や広報活動を強化するとともに地域、事業所の火災予防の普及啓発に努めます。 ・登別市消防創設100周年を平成25年度に迎えるため、各種記念事業を実施し、消防活動の充実と市民の理解・協力を努めます。 ・事業所等における防火管理の知識、技術の向上を図るための防火管理講習会の定期的な実施に努めます。 ・住宅火災から死者数の低減を図るため「住宅用火災警報器」の義務化により住宅への設置普及に努めます。
1-③	1 火災予防活動の推進	③ 防火査察の徹底	・防火対象物の査察を定期的に実施し、火災予防上必要な指導に努めます。 ・危険物施設への定期的な立入検査を通じ、技術基準の適合性について安全指導に努めます。 ・災害時要援護者を災害から守るため、一人暮らし等の高齢者査察を強化します。
1-④	1 火災予防活動の推進	④ 消防団の活性化	・女性団員も含め新団員の確保等、消防団の強化に努めます。 ・消防団員の安全装備品の整備に努めます。
2-①	2 消防力の強化・高度化	① 消防施設、機器整備の高度化と効率化	・消防、防災活動の拠点として防災センター機能を備えた消防庁舎の建設を検討します。 ・効果的な出動体制を確立するため、消防施設の適正配置の検討及び老朽化した各施設の計画的な整備に努めます。 ・消防ポンプ自動車、救助工作車等、消防資機材の整備を順次進めるとともに、早急に必要とする場合は速やかな対応に努めます。
2-②	2 消防力の強化・高度化	② 消防用通信体制の整備	・消防救急デジタル無線の整備を行い、消防緊急通信指令施設の共同運用など消防機動力の高度化に努めます。
2-③	2 消防力の強化・高度化	③ 消防水利の拡充	・水利不足地域の解消を図るため計画的に消火栓や防火水槽の整備に努めます。
2-④	2 消防力の強化・高度化	④ 広域消防体制の整備と消防施設の適正配置	・災害対応型車両の導入やそれに対応した資機材の整備に努めます。 ・行政区域を越えた消防救急無線のデジタル化・広域化・共同化と消防指令業務の共同運営について広域的な体制の整備に努めます。

NO	施策	事業名 【事務事業 コード】	部名及び グループ名	開始 年度	終了 年度	事業 区分	会計 種別	大型 事業 推進 プラン 掲載 事業	Plan・Do											Check				Action							
									事業概要				事業の成果、目標						各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案【単位：千円】						第2期基本計画第3次実施計画期間 (H24～H27)及び平成28年度におけ る事業内容の変更・改善等の状況	評価	評価の判断理由、特記事項 など (妥当性、有効性、効率性、成 果)	今後の事業の方向性 【H29以降】			
									事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業 の場合は、施 設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、 要綱等	指標名	単位	H26 実績	H27 実績	H28 目標	H29 目標	H30 目標	H31 目標	名称	H26 決算						H27 決算	H28 予算	H29 予算案
1	1-④	消防団員貸 与品購入事 業	消防 本部 消防 (総 務 G)	-	H27	ソフト	一般会計	○	それぞれの職業 に従事する一方、 市民の生命・身 体・財産を災害か ら保護すると共 に、被害軽減のた め、昼夜を問わず 火災予防啓蒙・訓 練等に献身的に努 力を続けられている 消防団員に対し、 貸与品の整備を 行い、消防団の 活気ある活動と消 防力の充実を図る ことを目的とする。	消防団員 【新入団員への貸与】 制服・制帽・活動服・アポロキャップ・黒短 靴・ベルト・ネクタイ 【経年劣化した貸与品の更新】 制服・制帽・活動服	消防組織法、登別 市消防団条例、同 規則、消防団を中 核とした地域防災 力の充実強化に関 する法律	消防団員数 ※条例定数は191人	人	155	154	-	-	-	-	国庫 支出金								H26 以前	事業実施中に不断の事務改善 を検討・実施しております が、事業内容に変更はありま せん。	平成28年度以降は、消防団 員貸与品購入事業と消防団資 機材整備事業を統合した「消 防団安全装備品等購入事業」 として実施する。	消防団安全装備品 等購入計画に基づ き実施していく。
		23214001							H27	上記のとおり 【新入団員への貸与】 制服・制帽・活動服・アポロキャップ・黒短 靴・ベルト・ネクタイ 【経年劣化した貸与品の更新】 制服・制帽・活動服 【消防団員防火衣】 14式	上記のとおり								道 支出金	石油貯蔵施設立地 対策等交付金	1,100							H27			
									H28										一般 財源		906	1,078									
																			合 計		906	2,178	0	0	0	0					
2	2-①	化学消防ボ ンプ自動車 更新事業	消防 本部 消防 (総 務 G)	H27	H27	ハード	一般会計	○	老朽化した化学消 防ポンプ自動車を 更新することによ り消防体制の強 化を図ることを 目的とする。	化学消防ポンプ自動 車 1台を更新した。		化学消防ポンプ自動 車	台	-	1	-	-	-	-	国庫 支出金								H26 以前			
		23221030																	道 支出金			50,200						H27	消防車両等更新計画に基づ き、化学消防ポンプ自動車を 更新した。	消防体制の強化を図るため化 学消防ポンプ自動車1台を更 新した。	平成27年度で事 業終了。
																			一般 財源			363									
																			合 計		0	50,563	0	0	0	0					

